

桜宮小学校

所在地	〒534-0024 都島区東野田町 1 - 10 - 19							
電話	06-6351-1577	FAX	06-6351-1038					
НР	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e52103 ※「大阪市立桜宮小学校」で検索してください。							
校長名	交長名 荒木 豊充		標準服有り					



本校は、令和4年に開校150年を迎えました。明治6年に相生小学校として始まり、明治39年11月、野田小学校との統合を経て、現在地に桜宮小学校として開校しました。そして令和8年には創立120周年を迎えます。

「豊かな心を持ち、知・徳・体」の調和のとれた実践力のある子どもを育てる」が本校の教育目標です。 具体的には、

「知」各教科の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。

- 「徳」たてわり班(ファミリー)活動や体験活動を通して、児童一人一人が、自己の成長や友達の大切さを実感できるようにする。
- 「体」体育科学習や外遊びなど、めあてを持って体力づくりに取り組む児童を育てる。

となります。

今後も丁寧な指導を通して健全な児童の育成に取り組んでまいります。「進んで考え、がんばろう」が本校の校訓です。自主性に富み、自ら考え、 未来を切り拓く力を持つ子どもの育成に全力を尽くしてまいります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

校長 荒木 豊充

○ 「運営に関する計画」の概要

【安全・安心な教育の推進】

令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り開く学力・体力の向上】

令和7年度の小学校学力経年調査(校内調査)の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を65%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

令和7年度末の校内アンケートの「学習活動の中で、学習者用端末を活用することができますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を82%以上にする。

学力の状況と学力向上に向けた取組

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果

○平均正答率(%)

国語	算数			
65	61			

○結果の概要

国語:平均正答率は、大阪市平均より1ポイント、全国平均よりも2.7ポイント届かなかった。内容別平均正答率は「情報の扱い方に関する事項」では大阪市平均を3.6ポイント、全国平均を1.7ポイント上回り、「書くこと」では大阪市平均を1.1ポイント上回ったものの全国平均は1.4ポイント下回った。その他の内容では、大阪市平均、全国平均ともに下回った。

算数:平均正答率は、大阪市平均より1ポイント、全国平均より2.4ポイント届かなかった。領域別平均正答率は、「変化と関係」で大阪市平均を1.5ポイント、全国平均を0.5ポイント上回ったが、その他の内容では、大阪市平均、全国平均ともに下回った。

取組の成果と課題、アクションプラン

学力向上支援事業を活用して教員の授業力を向上させ、更に分かりやすくて楽しい国語の授業を目指す。図書館司書との連携を密にして、地域ボランティアの力も借りながら、児童の読書に対する意識を高めて、より多くの児童の読書習慣の定着化を図る。確実に基礎的な計算力の定着のために、既習の計算方法の復習や繰り返しにより計算力を高めるようにする。割合などの苦手な単元の克服のため、個に応じた指導をさらに進めていく。また、「いじめを考える日」「いじめアンケート」などの実践に加えて、いじめを扱った授業を実施し、絶対にいじめを許さないという学校体制をつくる。

() 体力の状況と体力向上に向けた取組

●令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果 ○種目別平均値

	握力	上体起こし	長 座 体前屈	反 復横とび	20m シャトルラン	50m走	立 幅 とび	ソフトボール 投 げ	体 力 合計点
男子	14.75	18.33	35.75	38.71	56.58	8.93	152.17	19.33	53.17
女子	15.10	16.67	42.47	35.70	36.13	9.66	141.90	13.17	52.97

○結果の概要

男子は長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とびの4項目で大阪市、全国の平均値を上回った。反復横跳びは大阪市平均を上回った。女子は長座体前屈、50m走、ソフトボール投げの3項目で大阪市、全国の平均値を上回った。20mシャトルランは大阪市平均を上回った。体力合計点では、男子は大阪市よりも2.04ポイント、全国より0.64ポイント上回った。女子は大阪市より0.5ポイント上回った。

取組の成果と課題、アクションプラン

女子に比べ、男子の体力・運動能力、運動習慣調査の結果が良かったのは、運動に対する意識の高さの違いによる取り組む姿勢、経験の差にあると考えられる。児童質問紙の「あなたにとって、運動やスポーツは大切なものですか」という質問に対して、男子は95.9%が肯定的な回答をしているが、女子は86.6%である。「中学に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいですか。」という質問に対して、男子は91.7%、女子は73.4%である。今後は、児童に運動の有効性を伝え、意識の向上を図る。また、従来から取り組んでいる「桜の力」を日常的に活用したり、強調週間を設けたり、縦割り活動と組み合わせたりするなどの取り組みを行う。サーキットトレーニングを1年間を通して実践するなど、継続的な体力向上の取り組みを行う。授業研究や研修を通じて、指導者の指導力の向上を図り、児童の体力向上につなげる。

6月 避難訓練・引き渡し訓練

10月 運動会

11月 作品展、双方向オンライン授業

2月 走ろう会、双方向オンライン授業

【学力と体力の状況調査については16ページに全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

学校教育目標

「豊かな心を持ち、『知・徳・体』 調和のとれた実践力のある子どもを 育てる」を実現するために、様々な 教育活動に取り組んでいます。

平成26年度からは、子どもたちの体力づくりに取り組み、成果をあげています。

影うこ



機宮ルイメージキャラクター



体育科の研究授業



なわとび週間



走ろう会(大阪城公園にて)



なかよし集会



ファミリ一児童集会



桜小カーニバル

ファミリー活動

桜宮小学校では、たてわり班(1から6年生までが数名ずつの異年齢集団)活動を行っています。「桜ボッファミリー」と呼んでいます。日々の清掃活動から桜小カーニバルなどの大きなイベントを一緒に力を合わせて取り組んでいます。高学年は、ファミリーのリーダーとして、責任と自覚をもち、低学年はその背中を見てあこがれをもって活動しています。

桜の力



全学年を対象に、体力つくりの目標を書いた「体力の通知票」です。

一輪車や竹馬の項目などに休み時間などを利用して、全児童が取り組んでいます。